【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-58913(P2008-58913A)
【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)
【年通号数】公開・登録公報2008-010
【出願番号】特願2006-239027(P2006-239027)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　6/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　6/36

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月25日(2010.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光ファイバ素線の外周に被覆層が形成されている光ファイバ心線をフェルールに固定する固定構造において、光ファイバ心線から被覆層を剥して露出させた前記光ファイバ素線の端部を挿通する第１の孔部と、該第１の孔部と連通し前記光ファイバ心線を挿通する第２の孔部とを有するフェルールと、前記光ファイバ心線を挿通する孔部を有し、前記フェルールの前記第２の孔部内に挿着する筒状のゴムスリーブと、前記フェルールの後部に装着し、前記ゴムスリーブを前方に押圧し、前記ゴムスリーブを前記第２の孔部内において圧縮し、前記光ファイバ心線を前記フェルールに固定するカバーとから成ることを特徴とする光ファイバ心線固定構造。
【請求項２】
前記フェルール、前記カバーは合成樹脂から成ることを特徴とする請求項１に記載の光ファイバ心線固定構造。
【請求項３】
前記フェルールに前記カバーを挿着した後に、両者を錠止する機構を有することを特徴とする請求項１又は２に記載の光ファイバ心線固定構造。
【請求項４】
光ファイバ素線を露出した光ファイバ心線の被覆部に筒状のゴムスリーブを挿通する第１工程と、前記光ファイバ素線をフェルールの第１の孔部に挿通し前記ゴムスリーブを前記フェルールの前記第１の孔部に連通し前記第１の孔部よりも径の大きな第２の孔部に押し込む第２工程と、前記フェルールの後部にカバーを装着して押し込み固定することにより、前記ゴムスリーブを前方に押圧して前記第２の孔部内において圧縮し前記光ファイバ心線を前記フェルールに固着する第３工程と、前記フェルールの先端部から前方に露出した前記光ファイバ素線を切断する第４工程とから成ることを特徴とする光ファイバ心線固定方法。
【請求項５】
前記第３工程において、前記フェルールと前記カバーを錠止することを特徴とする請求項４に記載の光ファイバ心線固定方法。